



## 何が出てくるかな

～アンモナイト発掘体験～

5月5日子どもの日に、貝の館においてアンモナイトを掘り出す化石発掘体験が行われました。午前の部と午後の部の2回に分け開催され、60名が参加しました。このイベントは、太古の生物を通じて子どもたちに自然環境への関心を高めてもらおうと、同館が毎年開催しております。



## 豊作を願って

～「らんこし米」田植え始まる～

5月9日、「らんこし米」の田植えが始まりました。トップを切ったのは、松岡俊文さんの水田で、後方に見えるよしくに公園には桜が咲きほこり、ニセコ連峰には残雪が白く光り、この圃場で田植えを行うのが一番と話され、小春日和の中、順調に田植えがスタートしました。



## いってらっしゃい

～さけ・ます放流式～

5月11日、さけ・ますの資源増大を願う「さけ・ます放流式」が字三笠の尻別さけます事業所蘭越施設で行われました。大きく育ち尻別川に戻って行くことを祈りながら、水産関係者と蘭越小学校2年生が施設横の小川からサクラマスの子魚を放流しました。



## 早期開通に向けて

～新幹線内浦トンネル工事説明会～

5月17～18日、昆布地区と蘭越地区の2会場に分けて、北海道新幹線内浦トンネルの工事説明会が施工業者により行われました。工期は、平成29年12月12日から平成37年9月11日までの7年9カ月とのことで、札幌までの新幹線延伸の早期開通が期待されます。



## みぎ見て、ひだり見て

～ひばり幼稚園こぐまクラブ

「母と子の安全教室」～

5月21日、ひばり幼稚園の園児と母による交通安全教室が行われました。幼稚園から街の茶屋、蘭越小学校を通過する1周のコースで、数ある横断歩道ではいったん立ち止まり、「右見て、左見て、もう一度右見て、手を上げて渡りましょう。」と、声と指さしで安全を確認し、元気よく手を上げて交通マナーを再確認しました。



## あいさつが大事

～生涯学習推進講座

蘭越高等学校「地域の社会人との懇談会」～

5月24日、蘭越高校2・3年生を対象に、本校の卒業生で社会人として活躍している3名の先輩を招き、自立して感じたことなどをテーマに懇談会が行われました。パネリストの3名からは、「あいさつが一番大事。まず、これができないと社会で通用しない。」等のアドバイスや、社会での経験談をわかりやすく発表されました。



## 冷た～い！

～ちびっ子チャレンジクラブ

ふるさと講座「田植え」～

5月26日、ちびっ子チャレンジクラブのメンバーが、富岡体験田で田植え体験を行いました。子どもたちの中には田植えが初体験という子もおり、田んぼに入った瞬間「冷た～い！」と声を上げる姿が見られました。一方、上級生たちは手慣れた動きで作業を進めていく姿が印象的でした。



## 集中と緊張と達成感

～電子オルガン・ピアノ音楽発表会～

5月27日、町民センターで今川音楽教室主催の音楽発表会が開催されました。多くの観客の前で日頃の練習成果を発表するとあって、演奏者は鍵盤に集中し、演奏していました。演奏が終わると観客から盛大な拍手が送られ、ようやく緊張から解放されて達成感に満たされた様子でした。